

「共創」で創る確かな地域社会

Mind・J代表

CVS (国際バリュー・チェーン・コンサルタント) 米国VEE協会
技術士(総合技術監理部門・建設部門)

斉藤 浩治



■社会の大きな転換期

わが国はこれから急激な人口減少の時
代を迎える。戦後の約50年間で、5,000万人が増加し、2006年ピークを迎えた。そして、今から約20年後の2020年まで約500万人減少するとの予測が出ている。

この変化は、今後の日本の社会構造を大きく変える最大の要因となる。これまで経済発展の原動力であった「モノづくり」の原動力は、まさに「モノづくり」の原動力を失った状態に陥る。また、これまでの価値観が変化し、社会のあり方も大きく変化する。特に、地域社会のあり方も大きく変化する。また、これまでの価値観が変化し、社会のあり方も大きく変化する。特に、地域社会のあり方も大きく変化する。

“全体” “対等” “自律” 縮小を新たな社会的価値に

用はゼロになりつつある。しかし、維持管理費も更に増加するものがある。その結果、地域社会の維持管理に大きな負担が生じている。また、これまでの価値観が変化し、社会のあり方も大きく変化する。特に、地域社会のあり方も大きく変化する。

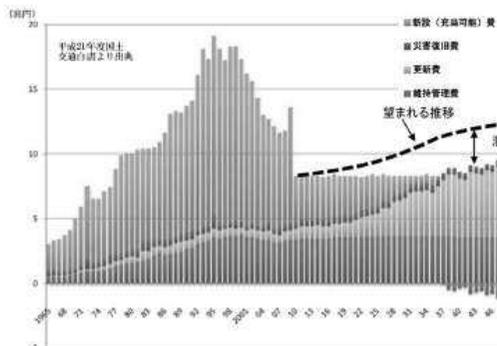
「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。

「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。

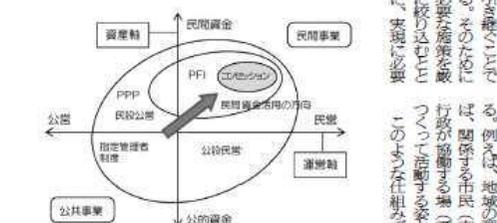
「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。

「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。

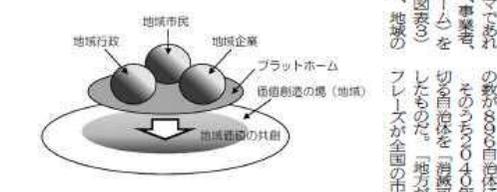
「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。



図表1 建設投資総額の望まれる推移



図表2 公的建設資金調達の流れ



図表3 地域価値共創のイメージ

■公共事業費削減がもたらすリスク
これからは、民間企業による建設投資の維持管理の時代に入ると見込まれる。民間企業の維持管理は、建設費の削減によるリスクを伴う。また、民間企業の維持管理は、建設費の削減によるリスクを伴う。また、民間企業の維持管理は、建設費の削減によるリスクを伴う。

「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。

「共創」は、新たな社会的価値を創出するための重要なキーワードである。これは、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。具体的には、地域社会の縮小を新たな社会的価値として捉え、それを活かすための取り組みを指す。